

融資の特徴

小規模事業者へのサポート

事業資金の融資先数は87万先にのぼり、小口の無担保融資が主体です。

1先あたりの平均融資残高は703万円と小口融資が主体です。

融資先数及び1先あたりの平均融資残高(平成29年度末)

	当事業	信用金庫計(261金庫)	国内銀行計(137行)
融資先数	87万先	113万先	202万先
1先あたりの平均融資残高	703万円	3,971万円	9,873万円

(注) 1. 当事業の数値は、普通貸付及び生活衛生貸付の融資先の合計です。

2. 国内銀行とは、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行などです。

3. 信用金庫及び国内銀行の数値には、個人向け(住宅、消費、納税資金など)、地方公共団体向け、海外円借款、国内店名義現地賃を含みません。また、信用金庫及び国内銀行の貸出件数を融資先数としています。

(資料) 日本銀行ホームページ

● 無担保融資の割合は全体の8割を超えています。

担保別融資構成比(件数)

26万件
(平成29年度)

無担保融資
85.5%

不動産等担保融資
14.5%

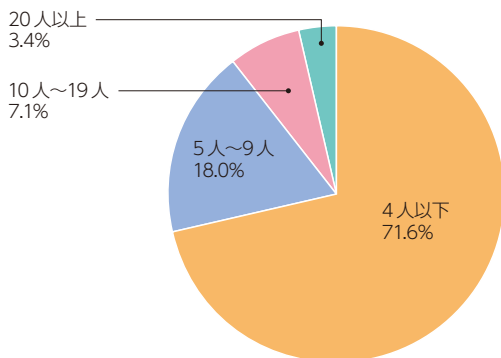
(注) 普通貸付(直接扱)及び生活衛生貸付(直接扱)の合計の内訳です。

融資先は小規模事業者が中心であり、約半数は個人企業です。

融資先は、ベーカリー、飲食店、理・美容室、工務店など、各地域の人々の生活に密接な関わりを持った小規模事業者が中心です。

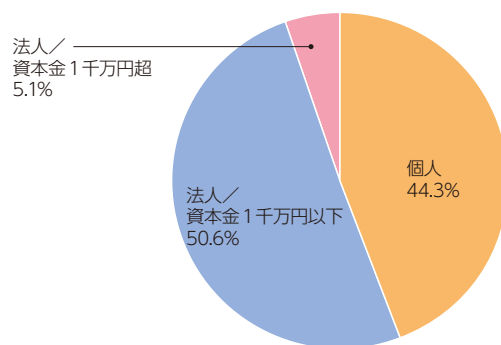
融資先の約9割が従業員9人以下の小規模事業者であり、個人・法人別では個人企業が約半数となっています。

従業員規模別融資構成比(件数)(平成29年度)



(注) 普通貸付及び生活衛生貸付(直接扱)の合計の内訳です。

個人・法人別、資本金別融資構成比(件数)(平成29年度)

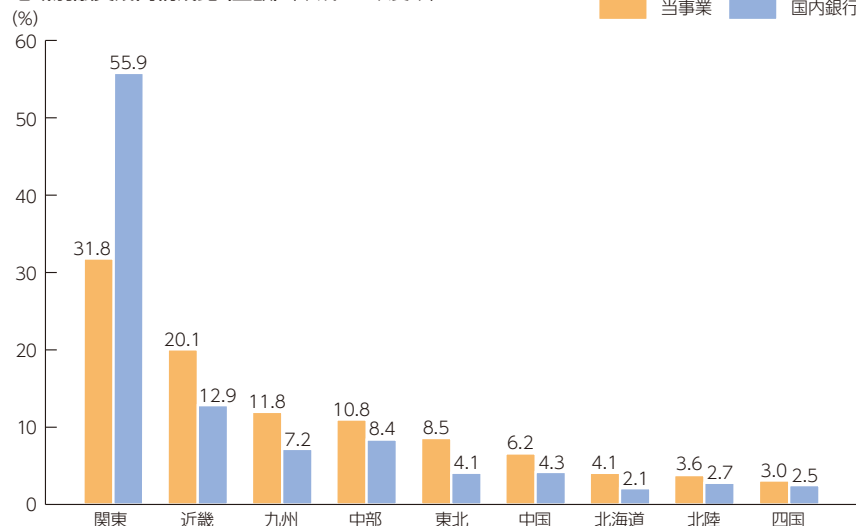


(注) 普通貸付(直接扱)及び生活衛生貸付(直接扱)の合計の内訳です。

全国152支店において様々な業種の皆さまにご利用いただいています。

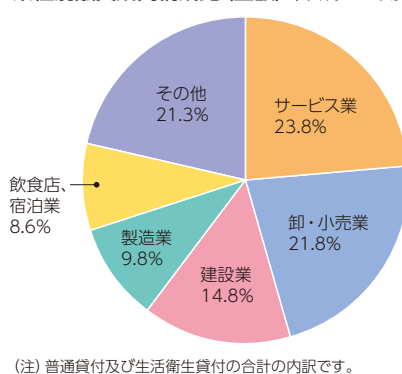
小規模事業者の皆さまに対して、全国152の支店を通じ、地域や業種を幅広くカバーして、きめ細かな融資を行っています。

地域別融資残高構成比(金額) (平成29年度末)



- (注) 1. 当事業の数値は、普通貸付(直接扱)及び生活衛生貸付(直接扱)の合計です。
 2. 国内銀行とは、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行などです。
 3. 国内銀行の数値は銀行勘定で、個人向け(住宅、消費、納税資金など)、地方公共団体向け、海外円借款、国内店名義現地貸を含みます。
 (資料) 日本銀行ホームページ

業種別融資残高構成比(金額) (平成29年度末)



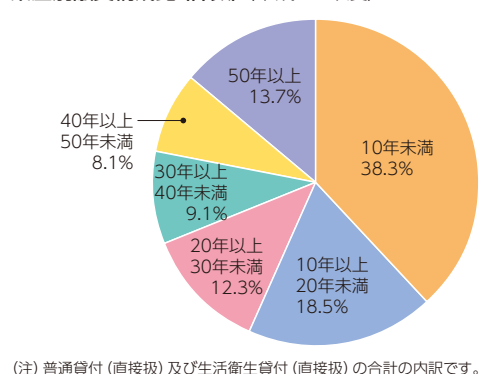
融資先は生活密着型の商売から最先端の事業まで、多種多様な小規模事業者

小規模事業者は、日本の企業数の約85%と大きなウェートを占めていますが、その一つ一つは多種多様です。

例えば、身近な商店街の食料品店や近所の工務店など、昔ながらの商売もあれば、バイオやICTなど最先端の知識や技術を駆使した事業もあります。また、企業の成長ステージでみれば、創業直後で成長を目指す企業、経営基盤が確立し事業が安定推移している企業など多岐にわたります。

このような地域の生活に密着した企業から新市場のパイオニアとなり得る企業まで、多種多様な小規模事業者の皆さまに幅広くご利用いただいています。

業歴別融資構成比(件数) (平成29年度)



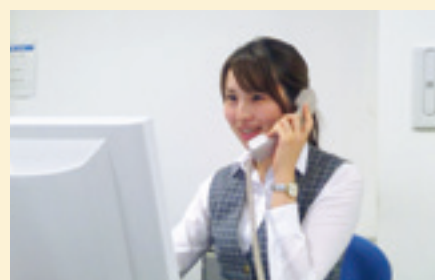
■ 事業資金のお問い合わせは…

事業資金相談ダイヤル

行こうよ! 公庫
 0120-154-505

【受付時間】月～金曜日:9時～19時(国民生活事業)

※土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月31日～1月3日)はご利用いただけません。



東日本大震災・平成28年熊本地震への対応

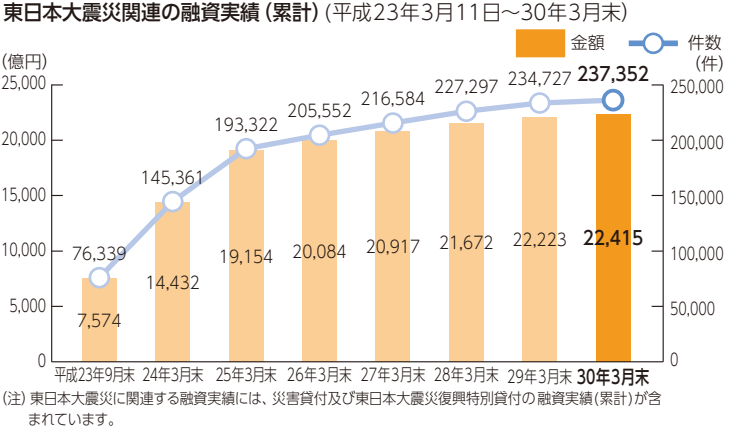
地震、台風、豪雪などによる災害時には、一般の融資よりも返済期間や元金の据置期間が長いなど、返済条件が有利な災害貸付で、被害を受けた小規模事業者の皆さまの復旧・復興を支援しています。

東日本大震災により影響を受けた小規模事業者の皆さまの復旧・復興を支援しています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災に対して、「東日本大震災復興特別貸付」等により、被害を受けた皆さまを支援しています。

● 東日本大震災関連の融資実績の推移(累計) (平成23年3月11日～30年3月末)

当事業における東日本大震災に関連する融資実績は、震災の発生から平成30年3月末までの累計で237,352件、2兆2,415億円となりました。



「東日本大震災復興特別貸付」(国民生活事業の取扱分)の概要

ご利用いただける方 ^(注1)	融資限度額	ご返済期間(うち据置期間)
震災又は原発事故により直接被害を受けた方	6,000万円(各種融資制度に上乘せ)	設備資金：20年以内(5年以内) 運転資金：15年以内(5年以内) ^(注2)
震災又は原発事故により間接被害を受けた方		設備資金：20年以内(3年以内) 運転資金：15年以内(3年以内) ^(注2)
その他震災による被害(風評被害等)を受けた方	4,800万円(別枠) ^(注3)	設備資金：15年以内(3年以内) 運転資金：8年以内(3年以内)

(注1) ご利用にあたっては、一定の要件に該当する必要があります。詳しくは支店窓口までお問い合わせください。
(注2) 適用する融資制度に定めるご返済期間が、本制度のご返済期間より長い場合は、当該ご返済期間が適用されます。
(注3) 振興計画の認定を受けている生活衛生同業組合の組合員の方は別枠5,700万円(運転資金のみ)となります。

東日本大震災に対応した融資事例 ～震災による工場移転を支援～

A社は、福島県で産業用モータのコイル部分を技術者による手巻きで加工・製造している企業。原発事故により、南相馬市の本社工場が稼働停止、避難指示解除準備区域となった。同市内の避難指示解除準備区域外に新工場を建設し、平成27年4月稼働開始するにあたり、当事業は、企業立地補助金及び地域金融機関の融資と併せて新工場に設置する機械の購入資金を融資した。



サーボモータ電工作業

平成28年熊本地震により影響を受けた小規模事業者の皆さまの復旧・復興を支援しています。

平成28年4月14日に発生した平成28年熊本地震の被災に対して、「平成28年熊本地震特別貸付」等により、被害を受けた皆さまを支援しています。

● 平成28年熊本地震関連の融資実績(平成28年4月14日～30年3月末)

当事業における平成28年熊本地震に関連する融資実績は、震災の発生から平成30年3月末までの累計で16,394件、1,417億円となりました。

平成28年熊本地震に対応した融資事例 ～震災による設備の復旧を支援～

B社は、熊本県阿蘇市において3代続く老舗旅館。熊本地震により、旅館の外壁及び館内に多数のひび割れが発生。また、温泉井戸の崩落により湧出が止まり、営業を休止した。当事業は、営業再開に向けて旅館の改装資金及び井戸の掘削工事資金等を融資。平成28年6月に泉源の再掘削を進めたところ、元の湯と温度や湧出量が変わらない温泉が湧出し、同年7月に営業を再開した。



工事中の温泉井戸

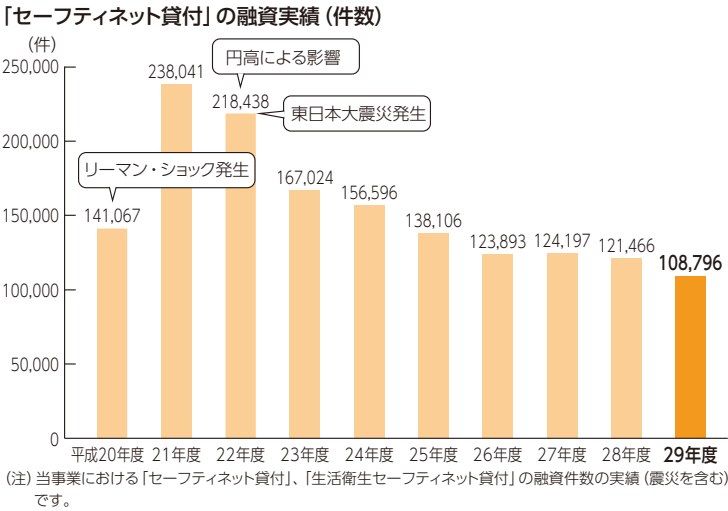
セーフティネット機能の発揮

経営環境や金融環境の変化などに対応し、小規模事業者の皆さまの資金繰りを支援しています。

社会的・経済的な環境の変化などにより資金繰りに影響を受けた小規模事業者の皆さまのセーフティネット需要に対応しています。

平成29年度の「セーフティネット貸付（震災を含む）」の融資実績は、108,796件となりました。

また、一定の借入負担があり、一時的に資金繰りが悪化している方を対象とした「経営支援型セーフティネット貸付（経営環境変化対応資金）」の平成29年度融資実績は、565件となりました。



「セーフティネット貸付」の概要

融資制度	ご利用いただける方	融資限度額	ご返済期間（うち据置期間）
経営環境変化対応資金	売上が減少するなど業況が悪化している方	4,800万円	設備資金：15年以内（3年以内） 運転資金：8年以内（3年以内）
金融環境変化対応資金	取引金融機関の経営破たんなどにより、資金繰りに困難を来している方	別枠4,000万円	
取引企業倒産対応資金	取引企業などの倒産により経営に困難を来している方	別枠3,000万円	運転資金：8年以内（3年以内）

(注) 振興計画の認定を受けている生活衛生同業組合の組合員の方にも、同様の制度があります（運転資金のみ。取引企業倒産対応資金を除きます。）。

特別相談窓口を設置し、小規模事業者の皆さまのご相談に迅速に対応しています。

東日本大震災並びに平成28年熊本地震などの地震や、台風、豪雪などによる災害の発生、大型の企業倒産などの不測の事態が発生した場合、直ちに特別相談窓口を設置し、影響を受けた小規模事業者の皆さまからの融資や返済条件の緩和などのご相談に迅速に対応しています。



現在設置中の特別相談窓口（平成30年5月末現在）

	窓口数	窓口名称	設置年月
災害関連	8	東日本大震災に関する特別相談窓口	平成23年 3 月
		平成28年熊本地震による災害に関する特別相談窓口	平成28年 4 月
		平成28年新潟県糸魚川市における大規模火災に関する特別相談窓口	平成28年12月
		平成29年6月7日から7月27日までの間の豪雨及び暴風雨による災害に関する特別相談窓口	平成29年 8 月
		平成29年台風第18号に係る災害に関する特別相談窓口	平成29年 9 月
		平成29年台風第21号に係る災害に関する特別相談窓口	平成29年10月
		平成30年2月4日からの大雪による災害に関する特別相談窓口	平成30年 2 月
		平成29年度豪雪に関する特別相談窓口	平成30年 2 月
その他	1	ロシア水域におけるさけ・ます流し網漁禁止関連特別相談窓口	平成27年12月

成長戦略分野への取組み

創業企業(創業前及び創業後1年以内)への融資は年間約2万8千先にのびります。

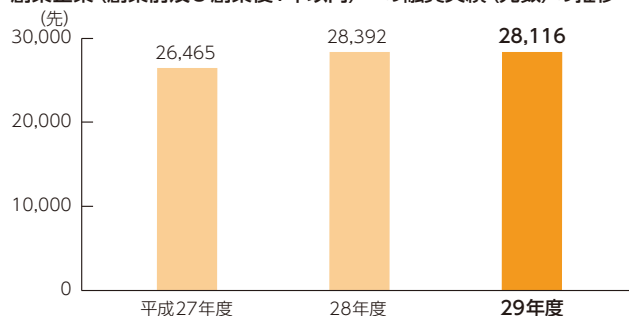
創業前及び創業後間もない方は、営業実績が乏しいなどの理由により資金調達が困難な場合が少なくありません。このような創業企業についても積極的に融資を行っています。また、創業希望者が各地域において、創業支援の情報をワンストップで入手できるように、市区町村、商工会議所・商工会、大学などの創業支援機関と連携した創業支援ネットワークを全国976ヵ所で構築しています。

● 創業企業への融資実績(先数)の推移

平成29年度の創業前及び創業後1年以内の企業への融資実績は28,116先となりました。

創業企業への融資を通して、年間8万7千人の雇用が創出されたと考えられます。

創業企業(創業前及び創業後1年以内)への融資実績(先数)の推移



【雇用創出効果】

28,116先 × 平均従業者数3.1人(注) = 87,159人

(注) 日本公庫「2017年度新規開業実態調査」による創業時点での平均従業者数です。

女性・若者・シニア起業家を積極的に支援しています。

女性の日常生活のなかで感じた小さな「気づき」をもとにした創業、若者ならではの斬新なアイデアを活かした創業、また、シニアならではの長年の経験を活かした創業など、経済社会が多様化するなかで、創業の裾野が広がっています。このような女性・若者・シニア起業家の皆さまについても積極的に融資を行っています。

女性・若者・シニア起業家への創業融資実績(先数)

女性層
平成28年度 29年度
6,364先 → 6,174先

若年層(35歳未満)
平成28年度 29年度
7,823先 → 7,931先

シニア層(55歳以上)
平成28年度 29年度
3,208先 → 2,995先

(注) 女性の若者層及びシニア層は、女性層ともう一方の層で重複して計上しています。

女性起業家への融資事例 ～自家栽培の農作物を使用した飲食店を創業～

C社は、代表者の実家の農地を活用し、自然農法で自家栽培した「採れたて野菜」を使用したメニューを提供する農家食堂として創業。また、自社及び地域の余剰農作物を活用した加工食品(コーンスープ、ドレッシング、ピクルスなど)の開発・製造販売も行っている。近隣住民のほか、夏場は都心部からの観光客も多く訪れる。

当事業は、認定経営革新等支援機関でもある地元信用金庫と協調し、店舗建設費等の設備資金を融資した。



「採れたて野菜」が味わえる
農家食堂

若者起業家への融資事例 ～「どローカルメディア」の情報発信～

D社は、地元の若者をターゲットとして、SNSを活用したネットメディア運営事業を展開。「雑誌やWEBの情報より、地元の若者はTwitterやインスタグラムにて情報を収集する」という点に着目し、地元の大学生をモデルに採用したカフェの紹介やレジャー情報など、「ローカル」にこだわった情報配信を行っている。

最近では、地元の野球チームからブランディングと学生向けPRを受託し、ビールの売り子とイメージガール隊をプロデュースするなど、新たな事業も展開している。

当事業は、売上が軌道に乗るまでの運転資金と備品購入費用等の設備資金を融資した。



D社のHPより

シニア起業家への融資事例 ～勤務時代の経験を活かしたUターン創業～

E社は、大手メーカーでエンジニアとして30年以上従事した代表者が、故郷にUターンして創業。勤務時に培ったノウハウや人脈を活かし、技術提供サービス業として、地元企業へ技術開発に関するアドバイスをを行うほか、自らも地元の間伐材を用いたオリジナルの木製スピーカーや再生可能エネルギーを活用した発電装置の開発なども手掛けている。

当事業は、商品開発費等の運転資金を融資した。



E社オリジナルの木製スピーカー

高校生ビジネスプラン・グランプリ開催

平成29年度に全国の高校生を対象とした「第5回 創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」を開催しました。

3,247件(385校)の応募があり、ビジネスプラン作成のサポートとして、出張授業も実施いたしました(300校)。平成30年1月に行われた最終審査会ではファイナリスト10組による白熱したプレゼンテーションが繰り広げられ、市川高等学校の「棚田の未来を守れ!～棚田用自律型稲刈り機『弥生』～」がグランプリを獲得しました。次世代を担う若者を育てる「起業教育」がこれからの日本には大切であり、これからも創業支援の経験・ノウハウを起業教育の現場に還元していきます。

●詳しくは日本公庫HPをご覧ください⇒<https://www.jfc.go.jp/n/grandprix/>

●高校生ビジネスプラン・グランプリFacebookページでは最新情報を随時更新しています。<http://www.facebook.com/grandprix.jfc/>



グランプリを受賞した市川高等学校の皆さん

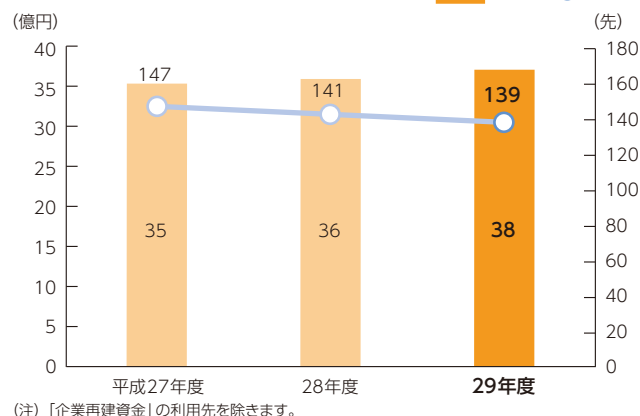
革新的な事業に挑戦する企業を支援しています。

研究開発型ベンチャー企業など、革新的な技術・ノウハウを持ち、高い成長性が見込まれる小規模事業者の皆さまを積極的に支援しています。

●「資本性ローン」の融資実績

「資本性ローン」は、期限一括返済や業績に応じた金利設定などの特徴を有しており、金融検査上「借入金」ではなく「自己資本」とみなすことができます。当融資制度を活用し、高い技術力を持ちながら研究開発資金などの負担が大きい企業の皆さまを支援しており、平成29年度の融資実績は139先となりました。

「資本性ローン」の融資実績



「資本性ローン」による融資事例 ～落雷抑制装置の研究開発を支援～

F社は、独自技術に基づく落雷抑制装置を開発、販売するベンチャー企業。従来の避雷針は、1つの電極に雷を誘導する設計になっており、避雷針周辺で電子機器異常などの被害が起きることがあった。同社の「PDCE避雷針」は、雷を誘導するのではなく、電極を2つ取り付けることで落雷そのものを抑制するものである。また、高所作業車に搭載して使用することで、夏場の音楽イベントや花火大会などの大勢の人が集まる場所にも一時的に設置できるようにした。

当事業は、用途の多様化に対応するための研究開発にかかる運転資金を融資した。



F社のPDCE避雷針

産学連携で、大学発ベンチャーを支援しています。

革新的な技術は大学の研究室から生まれることも少なくありません。当事業では地域の大学と連携するなどして、大学発ベンチャーへの融資を行っています。

高度な技術力を活かした革新的な事業への融資事例 ～開発資金等を支援～

G社は、集積回路を立体的に重ねる三次元集積回路(三次元LSI)の設計・生産技術を保有する国立大学発のベンチャー企業。一般的に集積回路(LSI)は平面の基板上に配置されるが、回路を立体的に重ねることにより、従来に比べて信号を送る距離が短くなり、回路間を信号配線で接続できるため、処理速度の向上、消費電力の削減、更なる小型化が実現できる。

当事業は、同社の高度な技術力、地域のリーディング企業への発展可能性などに注目し、開発・製造にかかる運転資金や研究施設に高純度クリーンブースを設置するための設備資金を融資した。



G社の高純度クリーンブース

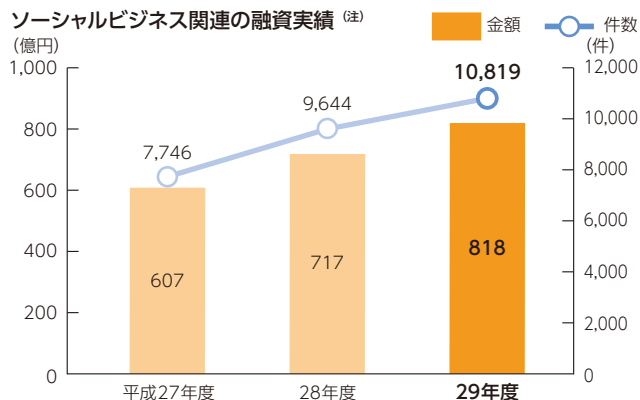
成長戦略分野への取組み

ソーシャルビジネスを支援しています。

高齢者や障がい者の介護・福祉、子育て支援、地域活性化、環境保護など、地域や社会が抱える課題の解決に取り組むソーシャルビジネスの担い手の皆さまを支援しています。

平成29年度のソーシャルビジネス関連の融資実績は、10,819件、818億円(うちNPO法人への融資実績は、1,552件、97億円)となりました。

(注)「①NPO法人」「②介護・福祉事業者」「③社会的課題の解決を目的とする事業者(①②を除きます)」への融資実績(①と②の重複分を除きます)の合計です。



ソーシャルビジネスの融資事例 ～貧困問題の解決に取り組むNPO法人を支援～

H社は、地域住民や企業、行政等と協働し、貧困問題に関する総合的な支援を行うNPO法人。路上生活者・生活困窮者に対して一時的な住居の提供や就労・自立支援に関する相談を行う「一時生活支援事業」、食べられるのに捨てられてしまう食料の寄贈を企業等から受け、生活困窮者等に提供する「フードバンク事業」、長期離職者等に就労体験の場を提供し、就労に向けた実践的なサポートを行う「中間的就労支援事業」を行っている。

当事業は、H社が新たに「就労支援事業」を開始するために必要となる人件費等の運転資金及び事務機器等の設備資金を、地元信用金庫と協調して融資した。

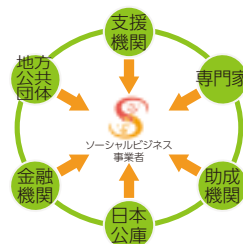


フードバンク事業の様子

ソーシャルビジネス支援ネットワークの取組み

地方公共団体、地域金融機関、NPO支援機関等と連携し、経営課題の解決を支援するネットワークの構築に取り組んでいます。ネットワークを構成する各支援機関の施策・サービスをワンストップで提供するとともに、経営支援セミナーや個別相談会の実施により、法人設立、事業計画の策定、資金調達、人材育成といったソーシャルビジネスの担い手の皆さまが抱える経営課題の解決を支援しています。

平成30年3月末現在のネットワーク総数は113件にのびります。



ソーシャルビジネスマーク

地域や社会の課題解決に取り組むソーシャルビジネスを周知していくため、シンボルマークを作成して、広報活動などに活用しています。

企業、NPO、住民、行政、公的機関など、さまざまな主体が手を取り合って、地域や社会が抱える課題の解決に取り組む様子を、Social Businessの「S」を用いて表現しています。

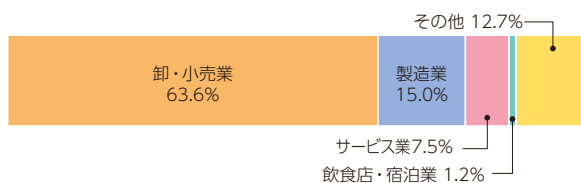


海外展開を図る小規模事業者の皆さまを「情報」と「資金」により支援しています。

日本貿易振興機構(ジェトロ)や日本弁護士連合会といった海外展開の支援を行う専門機関と連携することにより、お客さまのニーズに応じた情報を提供できる相談態勢を整備しています。

「海外展開・事業再編資金」の平成29年度の融資実績は1,737件となり、その約6割が卸・小売業となっています。海外で人気の高い日本の食文化や地域の伝統工芸品(食品、酒、陶磁器、漆器など)を取り扱う皆さま等にご利用いただいています。

「海外展開・事業再編資金」の業種別融資実績(件数) (平成29年度)



「海外展開・事業再編資金」による融資事例

社は、東京都内でハイエンドな犬関連用品を扱うペット商品の企画製造・販売業者。骨格の動きを妨げないペットの着心地と飼い主の着せやすさの両方を実現した機能性やデザイン、豊富なサイズ展開などが人気を得ている。

素材選びから縫製までメイド・イン・ジャパンにこだわった同社の事業は、「JAPANブランドプロデュース支援事業」にも採択された。今後は日本の3倍のペット商品市場を持つアメリカへ販路を拡大していく方針。

当事業は、商品の輸出拡大に必要な運転資金を融資した。



動きやすさを重視したレインコート

中心市街地活性化・商店街活性化を支援しています。

「企業活力強化資金」、「食品貸付」による融資や地方自治体などへの情報提供を通じて、中心市街地活性化・商店街活性化に取り組む皆さまを支援しています。

中心市街地関連地域において事業を営む方への融資実績(平成29年度)

	件数	金額
融資実績	11,719件	868億円

事業再生や事業承継を図る小規模事業者の皆さまを支援しています。

事業再生に関連する融資制度を通じて、地域金融機関との連携、中小企業再生支援協議会の関与又は民事再生法に基づく再生計画の認可などにより、経営の立て直しを図る皆さまを支援しています。

全国152支店に企業支援担当者を置き、一時的な元金の返済猶予や割賦金の減額など、返済条件の緩和のご相談に柔軟に対応しているほか、経営課題の解決に向けたアドバイスや経営改善計画書の策定支援等も実施しています。

また、地域金融機関、税理士、事業引継ぎ支援センター等との連携により、事業承継に取り組む皆さまを資金面・情報面の両面から支援しています。

株式、事業用資産の取得に必要な資金や後継者育成等の事業承継に向けた準備に必要な資金等をご融資しています。

加えて、事業承継を支援する機関と連携することにより、お客さまの事業承継に関する課題に応じた情報を提供できる相談態勢の整備にも取り組んでいます。

「企業再建資金」の融資実績(平成29年度)

	件数	金額
融資実績	3,381件	410億円

事業承継向け融資実績(平成29年度)

	件数	金額
融資実績	1,346件	112億円

(注)「事業承継・集約・活性化支援資金」の融資実績です。ただし、事業承継を契機とした経営多角化・事業転換又は新たな取組みに必要な資金の融資実績(804件、88億円)は含みません。

成長戦略分野の支援態勢を強化しています。

●「創業サポートデスク」・「海外展開サポートデスク」を全国152支店に設置

創業予定のお客さまには、「創業サポートデスク」において、専任の担当者が創業計画書の作成についてのアドバイスや、創業に関するさまざまな情報提供を行っています。

「海外展開サポートデスク」においては、現地で必要な許認可や契約書の内容確認など、金融以外の専門的な相談について、日本貿易振興機構(ジェトロ)や日本弁護士連合会などと連携することで、お客さま個々のニーズに応じたきめ細かなサポートを提供しています。

《全国152支店 平日9時～17時まで。予約不要》

●全国各地に「創業支援センター」・「ビジネスサポートプラザ」を設置

【創業支援センター】

- 北海道から九州まで全国15カ所に設置しています。
- 各地域の創業支援機関などとの連携により、お客さまへタイムリーな支援を行っています。
- 創業前、創業後のさまざまなステージのお客さま向けに各種セミナーを開催しています。

平成29年度

創業支援機関などへの出張講師回数	723回
セミナー実施回数	537回

【ビジネスサポートプラザ】

- 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡の6カ所に設置しています。
- 創業予定の方や日本公庫を利用されたことがない方などを対象に、予約制の相談を実施しています。
- 平日の営業時間内のご来店が難しい方向けに、「土曜・日曜・夜間相談」を実施しています(祝日を除く)。

(注) 1. 「日曜相談」は、毎月第1・3日曜日に「東京ビジネスサポートプラザ」で実施しています。
2. 「夜間相談」は、「東京ビジネスサポートプラザ」(毎週木曜日)、「大阪ビジネスサポートプラザ」(毎週火曜日)で実施しています。

設置地区(平成30年6月現在)



商工会議所・商工会、地域金融機関、生活衛生同業組合などとの連携

商工会議所・商工会と連携しています。

全国各地域の商工会議所・商工会と密接に連携し、「小規模事業者経営改善資金(マル経融資)」や相談会などを通じて、小規模事業者の皆さまの経営改善を支援しています。

●「小規模事業者経営改善資金(マル経融資)」の概要

商工会議所・商工会などの経営指導を受けている小規模事業者の皆さまが、経営改善に必要な資金を無担保・無保証人で利用できる制度です。昭和48年の制度創設以来、これまでのご利用件数は約505万件にのぼります。

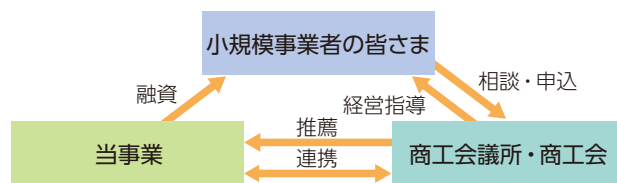
また、平成27年度に、経営発達支援計画の認定を受けた商工会議所・商工会から事業計画の策定・実施の支援を受け、持続的発展に取り組む小規模事業者の皆さまがご利用いただける「小規模事業者経営発達支援資金」を創設しました。

●商工会議所・商工会などで相談会(「一日公庫」)を開催

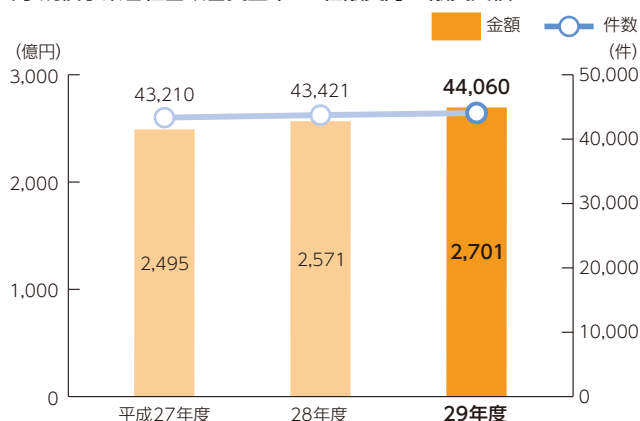
商工会議所・商工会などにおいて、当事業の職員が融資のご相談を承る相談会(「一日公庫」)を開催しています。

毎年多くの小規模事業者の皆さまからご相談をいただいています。

「小規模事業者経営改善資金(マル経融資)」の仕組み



「小規模事業者経営改善資金(マル経融資)」の融資実績



創業支援セミナーにおける連携

創業支援セミナーを共催するなど、商工会議所・商工会と連携して地域の創業支援活動に積極的に取り組んでいます。セミナーでは創業を考えている方を対象にビジネスプランの作成方法や資金調達の方法、当事業の融資制度などについてわかりやすく説明しています。セミナー受講後、当事業の融資を利用して、創業する方も数多くいます。



商工会議所と共催した創業支援セミナー

業務協力に関する覚書を締結しています。

日本公庫では日本税理士会連合会などと、業務協力に関する覚書を締結しています。勉強会やセミナー講師の派遣などによる情報提供など、専門機関と連携して小規模事業者の皆さまの経営の安定及び経営基盤の強化に取り組んでいます。

主な覚書締結先(平成30年5月末現在)

日本弁護士連合会	(平成23年4月27日)
全国社会保険労務士会連合会	(23年9月1日)
日本税理士会連合会	(23年10月14日)
日本司法書士会連合会	(23年11月11日)
日本行政書士会連合会	(24年3月29日)
独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)	(24年10月25日)

(注) ()内の日付は覚書の締結日になります。

税理士、公認会計士、中小企業診断士などの認定経営革新等支援機関^(注)と連携しています。

中小企業・小規模事業者支援において大きな役割を果たしている税理士などの認定経営革新等支援機関による「経営支援」と、日本公庫の「金融支援」が一体となって、創業、経営改善、事業再生などの分野で小規模事業者の皆さまを支援しています。

(注) 認定経営革新等支援機関とは、中小企業等経営強化法に基づく認定支援機関をいいます。詳しくは、中小企業庁ホームページをご覧ください。

地域金融機関と積極的に連携しています。

● 協調融資スキーム^(注)の構築実績

地域経済の活性化及びお客さまの利便性向上の観点から、地域金融機関との連携を推進しています。

創業支援や事業再生、事業承継、ソーシャルビジネスなどのさまざまな分野において、連携の実効性を高めるため地域金融機関と連携・協調して融資するスキーム作りに取り組んでいます。

当事業が、協調融資スキームを構築した地域金融機関数は、平成30年3月末時点で、450機関にのびります。

(注) 協調融資スキームとは、協調融資として取り扱う案件の具体的な紹介ルールの取決めがなされているものです。

業態別協調融資スキームの構築機関数(平成30年3月末時点)

	都市銀行	地方銀行	第二地方銀行	信用金庫	信用組合	その他	合計	(機関)
機関数	1	61	40	257	90	5	454	
うち国民生活事業 (参考)	0	60	40	256	90	4	450	
全金融機関数	4	64	41	261	105	—	475	
業態別構築割合	0%	94%	98%	98%	86%	—	94%	

(注) 1.信用組合の全金融機関数は、業域信用組合及び職域信用組合を除きます。

2.業態別構築割合は、国民生活事業の割合を算出しています。

3.業態別構築割合の合計は「その他」を除いて算出しています。

● 「協調融資スキーム」構築先との協調融資商品創設

協調融資スキームの中には、地域金融機関と日本公庫が連携し協調融資商品を創設して事業者を支援しているものもあります。

商品の例としては、福井銀行と創業分野で創設した「ふくぎん・日本公庫スタートアップサポート『W-ing』」や、きらやか銀行と事業承継分野で創設した「未来へのバトン」などがあり、実際に本商品で協調融資を実施するなど、具体的な成果が出ています。

協調融資商品の創設事例

構築時期	金融機関名	協調融資商品名	分野
平成29年4月	笠岡信用組合	かさしんソーシャルビジネス成長応援資金	ソーシャルビジネス
29年6月	津山信用金庫	つなぐ力	創業
29年6月	名古屋銀行	ネクスト	第二創業
29年7月	豊和銀行	地方創生!!創業・新事業サポート資金	創業・第二創業
29年8月	福井銀行	ふくぎん・日本公庫スタートアップサポート『W-ing』	創業
29年8月	協栄信用組合・三條信用組合・新潟大栄信用組合	ツグ・サポ協調ローン	事業承継
29年9月	広島県信用組合	サポートアルファ	事業再生
29年10月	荘内銀行	Will plus	女性
29年11月	津山信用金庫	つなぐ心	ソーシャルビジネス
29年12月	芝信用金庫	サポートワン創業	創業
		サポートワン挑戦	事業再生
		サポートワン未来	成長期支援
30年1月	きらやか銀行	未来へのバトン	事業承継
30年1月	さわやか信用金庫	順風満帆	創業期
30年2月	香川県信用組合	サクセスサポート	事業再生
30年3月	熊本信用金庫	創業サポート資金	創業
		成長サポート資金	成長期支援

協調融資商品の活用事例

J氏は、平成29年10月にカイロプラクティック事業を開業。カイロプラクティックにより、自身の体調が改善した経験から、多くの方の身体の悩みを解消したいとの想いが募り、開業を決意した。

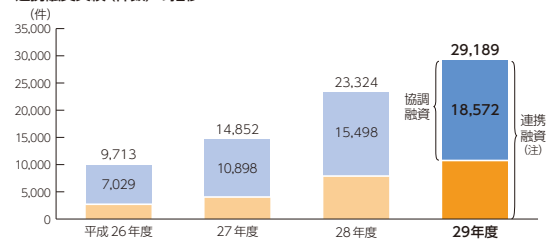
福井銀行は、J氏の事業計画や資金繰り、財務に関する支援を行い、当事業とも協調支援を協議。創業分野での協調融資商品「ふくぎん・日本公庫スタートアップサポート『W-ing』」を活用し、両者が協調して創業資金を融資した。

● 協調融資^(注)実績

当事業の平成29年度の地域金融機関との協調融資実績は、1万8,572件(前年度比120%)、2,102億円(前年度比119%)となりました。

(注) 同一目的の資金計画に対し、日本公庫と地域金融機関が協議を経たうえで、両者が融資(保証)を実行又は決定したものです(公庫で集計したものです。両者の融資実行・決定時期が異なる場合も含まれます)。

連携融資実績(件数)の推移



(注) 連携融資は、協調融資と金融機関から紹介を受けて融資を行った実績との合計です。

業態別協調融資実績(平成29年度)

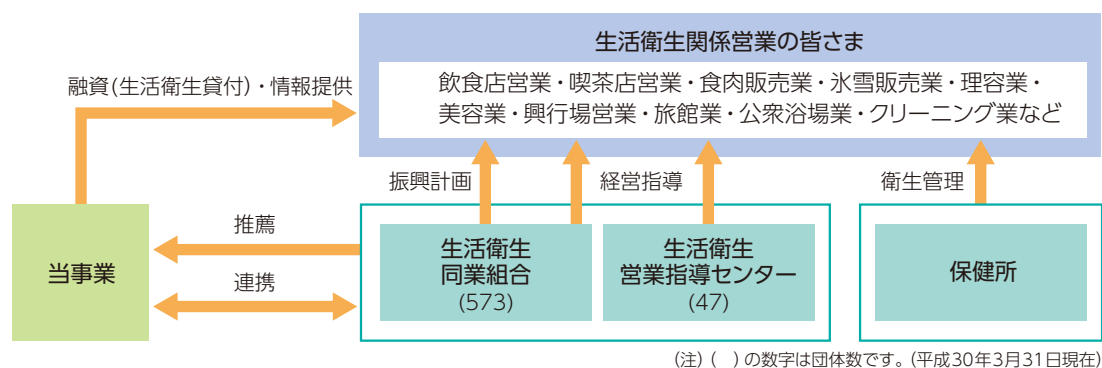
協調融資実績	都市銀行	地方銀行	第二地方銀行	信用金庫	信用組合	その他	合計	参考
件数	1,043件	6,587件	3,179件	9,785件	1,748件	738件	23,080件	前年度比
うち国民生活事業	505件	4,606件	2,658件	8,999件	1,666件	138件	18,572件	117%
金額	1,083億円	3,003億円	788億円	1,664億円	263億円	702億円	7,505億円	平成28年度実績
うち国民生活事業	85億円	544億円	303億円	980億円	171億円	16億円	2,102億円	102%
								119%
								19,671件
								15,498件
								7,322億円
								1,767億円

生活衛生同業組合、生活衛生営業指導センターなどと連携しています。

生活衛生同業組合、生活衛生営業指導センターなどと密接に連携し、国民生活に身近な存在で衛生水準の確保への要請が強い生活衛生関係営業の皆さまに対して、「生活衛生貸付」を通じて、衛生水準の維持・向上を支援しています。

●「生活衛生貸付」の概要

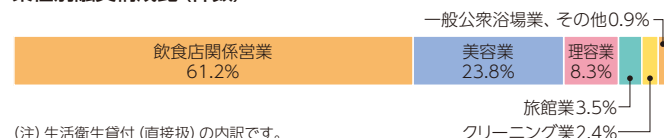
生活衛生関係営業の皆さまを支援する仕組み



●生活衛生関係営業の各業種に幅広く融資

「生活衛生貸付」は、生活衛生関係営業の各業種の皆さまに幅広くご利用いただいています（融資先企業数約6万企業）。融資先の大半が従業員4人以下であり、約8割が個人企業、約6割が創業前及び創業後5年以内の企業です。また、1先あたりの平均融資残高は523万円になります。

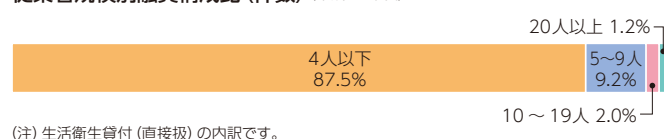
業種別融資構成比 (件数) (平成29年度)



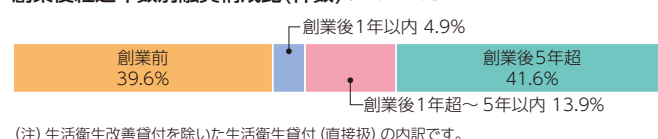
個人・法人別、資本金別融資構成比 (件数) (平成29年度)



従業員規模別融資構成比 (件数) (平成29年度)



創業後経過年数別融資構成比 (件数) (平成29年度)



●衛生環境が激変した場合の緊急融資の実施

衛生水準の維持・向上に著しい支障を来すような感染症又は食中毒の発生による衛生環境の激変が起こった場合は、貸付限度額などに特例を設けた「衛生環境激変特別貸付」を実施しています。

「衛生環境激変特別貸付」の融資実績

「衛生環境激変特別貸付」の名称	件数	金額
口蹄疫(平成22年8月～平成23年2月)	19件	0.8億円
新型インフルエンザ(平成21年7月～12月)	199件	21億円
高病原性鳥インフルエンザ(平成16年3月～9月)	140件	8億円
重症急性呼吸器症候群(SARS)(平成15年6月～12月)	26件	1億円
牛海綿状脳症(BSE)(平成13年10月～平成14年10月)	1,714件	107億円

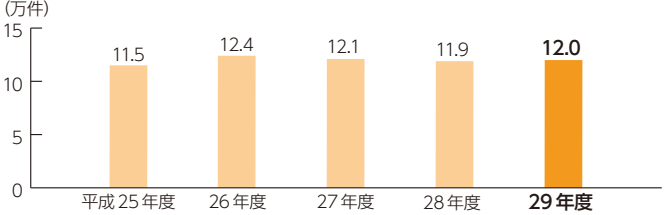
教育ローンによる支援

「国の教育ローン」でお子さまの入学・在学資金を必要とする皆さまを支援しています。

●「国の教育ローン」は毎年多くの方が利用

教育に関する家庭の経済的負担の軽減と教育の機会均等を図るため、入学時、在学時に必要な資金をお使いみちとした「国の教育ローン」(教育資金貸付)を取り扱っています。平成29年度のご利用件数は約12万件となりました。

「国の教育ローン」の融資実績(件数)の推移



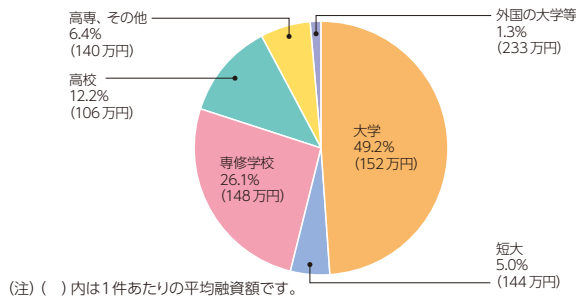
融資制度の概要

ご利用いただける方	ご融資の対象となる学校に入学・在学される方の保護者(主に生計を維持されている方)で、世帯年収(所得)が一定の要件を満たす方
融資限度額	お子さま1人につき350万円 (注) 1. 海外留学資金として利用する場合は450万円(外国の短大、大学、大学院に6ヵ月以上在籍する資金が対象となります。また、海外留学以外のご融資を含みます。) 2. 融資限度額内で重複してご利用いただけます。
ご返済期間	15年以内 (注) 交通遺児家庭、母子家庭、父子家庭、世帯年収(所得)200万円(122万円)以内の方又は「子ども3人以上の世帯かつ世帯年収(所得)500万円(346万円)以内の方」は18年以内
お使いみち	入学金、授業料、教科書代、アパート・マンションの敷金・家賃など

●教育費負担が大きい学生をお持ちのご家庭に融資

「国の教育ローン」は、教育費負担が大きい大学生や専門学校生をお持ちのご家庭を中心にご利用いただいています。

進学先別融資件数構成比(平成29年度 教育一般貸付(直接扱))



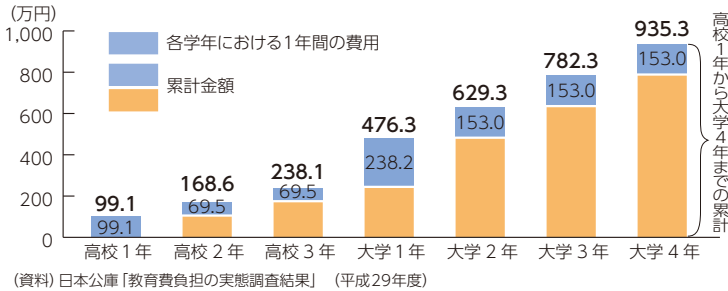
高校入学から大学卒業までに必要な教育費用は、子供1人あたり935万円

お子さま1人あたりにかかる教育費用は、高校3年間で約238万円となっています。

大学へ入学した場合は、入学費用と4年間の在学費用約697万円が加わり、合計は935万円にもなります。特に、入学時は入学金などが必要になるため、1年間の教育費の額が大きくなり、家計における負担感は大きいといえます。

(注) 教育費は、受験費用、学校納付金、授業料、通学費、教材費、学習塾の月謝などの合計です。

大学卒業までにかかる費用(子供1人あたりにかかる費用の年間平均額の累計)



■教育ローンのお問い合わせ・資料のご請求は…

教育ローンコールセンター

ハローコール
0570-008656

【受付時間】月～金曜日:9時～21時/土曜日:9時～17時

※全国から市内通話料金でご利用いただけます。

※日曜日、祝日、年末年始(12月31日～1月3日)はご利用いただけません。

(注) ナビダイヤルがご利用いただけない場合は、03-5321-8656におかけください。

ホームページからもお申し込いただけます。

国の教育ローン

検索



恩給や共済年金などを担保としてご融資しています。

恩給や共済年金などを担保とする融資は、「株式会社日本政策金融公庫が行う恩給担保金融に関する法律」(昭和29年法律第91号)に基づき、日本公庫(沖縄県にあっては沖縄振興開発金融公庫)だけが取り扱う制度です。住宅などの資金や事業資金に幅広くご利用いただけます。